

☆ピカピカ☆

はじめての新しいな 絵本 えほん

このはるはじめてのこと。なにがありましたか？
 あたらしいがっこうやようちえん、ほいくえん。おともだちなど
 はじめてや あたらしいって“♡”ドキドキ、ワクワクせにちよっとしんぱい...
 そんなおはなしをあつめてみました。



QRコードをびっ！
図書館HPIにアクセス

あたらしいともだち

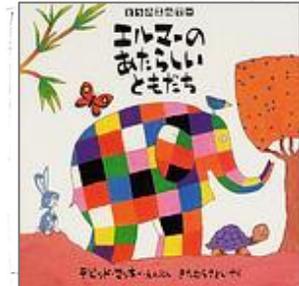


『はじめてのおつかい』 福音館書店
 筒井頼子 (作) 林明子 (絵)
 みいちゃんがはじめてひとりでおつかいに。ハフニングのれんぞくデス。

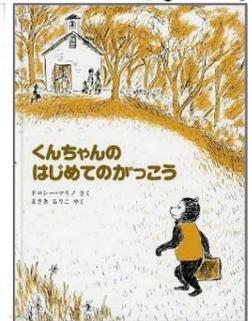


『ちよろりととつかけー』
 降矢なな 福音館書店

トカゲのきょうだいのひび夏のぼうけん



『エルマーのあたらしいともだち』
 デビット・マッキー BL出版
 カラフルなぞうエルマーにできたともだちって？



『くんちゃんのはじめてのがっこう』
 ドロシー・マリノ ペンギン社
 こぐまのくんちゃんの入學式の日のおはなし



『おさるのジョージ ほんやさんへいく』
 M. & H. A. レイ 岩波書店
 ジョージが(ほんやさん)にもちろんイロイロおきます

7/23(土) ~ 8/21(日)
 夏のえほんまつり

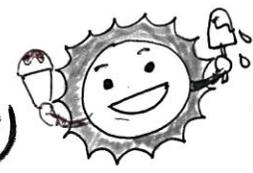
すがたりおはなし Special

絵本などつかわずに。おはなしする「すがたり」。小さいこと大きいこの会をひらきます。7/30(土)よてい

ブックビンゴ
 夏もやりかた! BOOK BINGO!!

1 ほん	2 とま	3 とま
4 とま	5 とま	6 とま
7 とま	8 とま	9 とま

9つのマスにあるテーマの本をよんで。タイトルをかいてください。せんぶそろったらいよいよあるかも...



よく

※ 状況によって変更になることがあります

夏のおすすめ本コーナー

おはなしポケットメンバーおすすめの本のほか、春のたねまきビンゴにさんかみなさんが女子きよ本もてんじします。お楽しみに。

ひみつの
 ? きょうがえ?

絵本コーナーのあるじどうしつかハンション!

6月7月としかんカレンダー

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
6月			1 おはすい	2	3	4 おはすい	平日 9:30-19:00 土日祝 9:30-17:00 開館	7月				1	2 おはすい	
5	6	7	8 おはすい	9	10	11 おはすい		3	4	5	6 おはすい	7	8	9 おはすい
12 おはすい	13 おはすい	14	15 おはすい	16	17	18 おはすい		10 おはすい	11 おはすい	12	13 おはすい	14	15	16 おはすい
19	20	21	22 おはすい	23	24	25 おはすい		17 おはすい	18 おはすい	19	20 おはすい	21	22	23 おはすい
26	27	28	29 おはすい	30	休館日			24 おはすい	25 おはすい	26	27 おはすい	28	29	30 おはすい

館内おはなし会
 おはすい ☺ 毎週水曜日 16:00 ~ 入子向け
 おはどん ☺ " 土曜日 15:00 ~ 全年令
 おはちび ☺ 第2日曜日と第4水曜日 11:00 ~ 0.1 柙
 すがたりおはなし会 ☺ 第5土曜日 15:00 ~



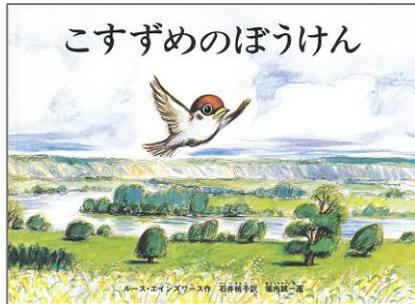
先日の図書館おはなし会のお客様は、二組の親子でした。3、4歳の男の子とお父さん、1年生の女の子とお母さん。用意した本のうち何を読もうかしら?と思ひながら、3冊目に『こすずめのぼうけん』(エインワース文 石井桃子訳 堀内誠一絵 1977年刊 福音館書店)を読みました。45年も前に出版された絵本ですが、おはなし会の常連ともいえる不朽の名作です。

ある日、こすずめは、お母さんすずめと初めて飛ぶ練習をします。初めて空に飛びだしたこすずめは、地面に落ちることなく、飛ぶことができました。その喜びの中で元気に飛び出したこすずめでしたが、やがて疲れて、どこかで休まなくてはならなくなりました。こすずめは、いろいろな鳥の巣のふちに止まって、「少し休ませていただけませんか。」と頼むのですが、巣の主と同じ鳴き声で鳴けないこすずめに返ってくるのは、「仲間じゃないから。」という返事でした。

おはなしが進むにつれて、観客の子どもの様子が、変化します。お父さんの陰に隠れてしまう男の子。お母さんにぴったりくっつく女の子。心の中で「あれ?怖い?心配?」と私。大丈夫、大丈夫と目で子どもたちを励ましなが、おはなしを続けます。そして、お母さんすずめのシルエットの絵のあるページに来ると、女の子が小さな声で「お母さんだ。」と嬉しそうにつぶやきました。

おはなしの力を感じるのは、こんな時です。おはなしは、聞いている子どもたちの心をはがっちりつかんで、二人はたぶんこすずめになっていました。そして、おはなしの終わりには、お母さんすずめといっしょに巣に帰り、お母さんのあたたかいつばさのしたで眠ったのだと思います。

作者は、イギリスの作家エインワースさん。訳者は、たくさんの児童書の翻訳をなさっている石井桃子さん。絵は、たくさんの絵本を手掛けている堀内誠一さんです。おはなし自体が、国も時代も超えて子どもたちの心に届くものですし、加えて、翻訳されたすばらしい日本語と、様々な景色や鳥たちを美しく描いた絵の力が、この絵本が長く読み継がれているための力だと思ひます。



「こすずめのぼうけん」

エインワース 文
石井桃子 訳
堀内誠一 絵
1977年刊
福音館書店

～てあそび*わらべうた やってみよう～

「らっかさんがそろたら」

まねっこあそびのうたです。テンポがそろうときもちい!

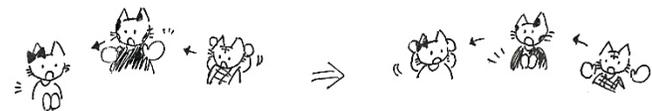
♪ らっかさんがそろたら まわそじゃないか



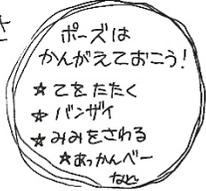
(数人で わになって、自分の手ととなりの子の手を(しゅんぱんに)たたく)



♪ よいやさの よいやさ よいやさの よいやさ



(「よいやさの」で なにかポーズをして、
「よいやさ」で 右となりの人のまねをする。つぎつぎ ととなりの人のまねをする)



らっかさんが そろたら まわそじゃないか よいやさの よいやさ

参考・引用文献:
近藤信子
「にほんのわらべうた
②あそびてあそび」
福音館書店

おに (おにやん) へ ナクリはまねて おにのポーズを みんなでまねするのさ!!

むかしからある ゆうめいな わらべうた! ほんとうは「らっかさん」じゃなく「羅漢さん(私さまの隣の最高位)」なんだって

十六羅漢とか遊佐にあるまね (五百羅漢なせ) らかんさんは 築園がおおい